

市議会議員小池みよ子の

ひたすら鹿嶋のために

小池みよ子
後援会会報 vol.14

〔発行〕

小池みよ子後援会

〒314-0034 鹿嶋市鉢形1493-2

TEL 0299-83-5252

携帯電話: 090-1690-0136

活動報告

Vol.14

所属委員会 環境経済建設委員会/議会運営委員会/広報委員会/議会改革検討協議会

議会報告 平成26年度3月市議会 一般質問

議員として、私の思いを込めた一般質問です。

ボクも
頑張るワン!

26年度市議会が3月をもって終了となりました。どうすれば鹿嶋はもっと良くなるだろうか、人々が安心して暮らすためには何が必要なのか、今の鹿嶋に足りないものは何なのか。その様な事ばかりを考え、実践してきた5年間でした。「ひたすら鹿嶋のために」をモットーに、震災復旧を初めとして、公共交通体制構築問題（デマンド交通体制）、農業、漁業、商工、高齢者と子ども達、共に社会を支えている世代とのまちづくり、高齢者のゴミ捨て問題等々課題が山積みです。

3月議会では、震災復旧の現状、液状化対策の進捗状況と今後の見通し、防災公園の進み具合、図書館問題、認知症対策などについて質問いたしました。「自助、公助、共助」これからも皆様の声に耳を傾けて向き合い「ひたすら鹿嶋の為に」「住んで良かった鹿嶋、住むなら鹿嶋」を目指しております。

皆様の思いがどの程度反映されているか読んでみてください。ご意見もお寄せください。

質問1、3.11震災復旧状況と今後の見通しについて

Q1 平成28年3月31日をもって復興交付金終了を迎えるに当たり完了を迎えることができるのか。

復興庁は27年度、つまり28年3月31日をもって復旧事業を完成するようにと通達を出しています。3年の予定が2年間延長されて今回の終了通告となり、27年度で復興交付金が打ち切られてしまうのではという懸念が市民の間で取沙汰されています。27年度末をもって全ての工事の終了を迎えることができるのかお聞かせください。

A1 錦織市長

平成24年6月に鹿嶋市震災復興計画を策定いたしました。この計画では、まず第一に震災の復旧、復興事業計画に定められたほぼ全ての事業について集中復興期間の平成27年度末までに完了する見通しが立っております。液状化対策事業は、この集中復興期間内の完了が大変厳しい状況です。28年度以降の国の復興予算は現状で何ら見通しが示されず、液状化対策事業という莫大な事業費と数年にわたる交付金が必要な特殊な事業を計画している本市は、非常に厳しい状況に置かれており、市政を預かる者として一刻も早くこの状況を打開すべく同様の問題を抱える10自治体の首長とともに、総理、復興大臣、関係大臣に対し、液状化対策事業の長期的な支援について強く要望してまいりました。液状化対策は、国の復興予算がなければ、自治体単独では絶対にできない事業で、今後も引き続き制度延長の要望活動を精力的に展開し、準備できる事は早急に進めて、工事の実施に向けて万全の努力をしてまいります。

Q2 液状化対策の経過と今後の見通しは

先日、数日間をかけた綿密な取材をもとにTBSテレビ「いっぶく」という番組が、「液状化対策と復興交付金の打ち切りについて」というテーマで放映されました。鉢形地区の液状化の被害と今後の対策について焦点を当てた内容だったかと思えます。関東一円の10市で組織する、「液状化対策実施自治体首長連絡会議」として、国に対して被災地の復旧、復興に対する長期的な支援について要望書を出してきたとの報道がありました。国の感触は如何でしたでしょうか。市内6カ所の液状化災害を受けた地区の施工見通しについてもお聞かせいただきたいと思います。



A2-1 錦織市長

10分の10の交付金は難しい状況ですが、復興大臣も財務省との予算獲得について最大限の努力をしてくれる事になっています。不透明な部分もありますが10市の首長さん方と協力をしながら努力していきます。

A2-2 建設部長兼水道事業建設部長

今後の予定は鉢形地区と長柄地区は実証実験中であり、今月27日に予定している検討委員会での検討結果を見ての判断となりますが、鉢形地区については対策工事を実施する方向で準備を進めております。駅東側地区は、地盤沈下の可能性が高いため、建物を建てる際に、個別対策を検討。平井海岸地区は再液状化の可能性は低いと判断されており、復興交付金の配分を受けることは困難であると認識。今、被災自治体に出来る事は、早期に対策工事が実施できる準備を進め、国に制度延長をお願いしていく事を引き続き、取り組んでまいります。

↓ ウラ面に続きます。

Q3 防災公園の進捗状況について

長柄地区につくられる予定の場所、広さ等進捗状況についてお聞かせ下さい。

A3 建設部長兼水道事業建設部長

津波発生時における近隣避難困難地区内の市民の方々や、国道124号線にある商業施設等の利用者の緊急避難場所として想定しておりますが、平常時には、住民の方々の憩いの場として利用を見込んでおります。公園の設計は3月の中旬ごろまでに完了予定。平成27年度の4月から12月を工事期間として築造工事を進めていく予定です。



質問2、図書館行政について

Q1 運営について

図書館は単に本を借りに行くだけの場所ではなく、地域の多目的文化センターとしての役割が期待され市民のニーズに応えることも大切な運営かと思えます。市民からニーズの高い開館時間を早め、また閉館時間を延長する時間の変更について市のお考えをお聞かせ下さい。

A1 教育長

夏休みに試験的に開館時間を延長する方向で準備を進めている。

Q2 予算の推移について

図書購入費は人口に対しては多いとは言えなく、昨年は750万円、今年は700万円となり、人口に対して少ないようですが。

A2 教育委員会事務局部長

雑誌の広告制度なども活用しながら財源の確保に努めているところです。効果的な図書の購入費の確保に今後も努めてまいります。

Q3 学校図書館との連携について

オンラインで結んで一歩進んで必要な本を届けてあげる、そして回収する作業までの連携を構築すべきかと考えますが。

A3 教育委員会事務局部長

ボランティアの養成講座あるいは策定時の計画等々に盛り込みながら対応するように努めてまいります。



質問3、高齢者福祉（特に認知症対策について）

Q1 具体的にどのように考えているのか

高齢者のみならず認知症対策をどのようにしていくのか、家族だけの問題ではないと思われませんが。

A1 市民福祉部長兼福祉事務所長

早期発見、早期対策ができる仕組みづくりや、認知症に関する医療、介護、福祉などの情報の一元的提供を図ってまいります。認知症予防の健康づくり事業、予防につながる活動を推進してまいります。

Q2 近年目立っている行方不明高齢者対策

子どもたちにもGPS機能付きの携帯を持たせる時代になり、徘徊する高齢者にもGPS機能付きの携帯なり端末を持つことが非常に有効であるというPRをもっと積極的にしていけないと、家族は介護につきっきりでなかなかそこまで頭がまわらず、躊躇している間に事故が起きたと言うお話もよく伺います。この辺の周知徹底をきちんとしていただきたいと思えます。

A2 市民福祉部長兼福祉事務所長

GPS利用サービス、徘徊者SOSネットワーク事業に関しては、周知しているつもりですが引き続き必要とところに必要な方が利用できるように周知徹底をはかってまいりたいと考えており、現在2名の方が利用されています。



まとめ 行方不明者の捜索は時間との闘いで、命にかかわります。地域コミュニティー、自治会の協力が大切です。消防団活動のてこ入れ、自治会の活性化。全て私たちの命を守る上に於いて深く関わっていることを改めて認識すべきと思えます。この場をおかりして、団体各位により一層の努力をお願い致します。

あなたの声を大切に！

何時でも、何処でも私に声をかけてください。
みなさまの“声”をお待ちいたしております。



ブログも覗いてみてください。

小池みよ子の思い

検索

皆さまの
ご意見もお気軽に
お寄せください

<http://plaza.rakuten.co.jp/hatigata/>

西谷遊歩道の桜



この遊歩道は鉢形地区によって
きれいにしています。